



練習にも熱がこもります

整備された練習場で人形劇練習開始

竹田喜之助顕彰会が機材を寄付

竹田喜之助顕彰会が、的に練習を開始。ドアンブ・カセットデッキなどの音響設備と調光機を市教育委員회에寄付。その機材が、邑久郷土資料館のアマチュア人形劇練習場に配備されました。

喜之助フェスティバルに向け、アマチュア人形劇団が本格

的に練習を開始。どの劇団も何度も練習を重ね、本番に望みます。

つきみ草代表の城山雅恵さんは、「良い設備をしていただき、なおいっそう練習に励みたい」とフエスに向けた意気込みを、話していました。

美しい歌声に心温まる

牛窓音楽の夕べ

牛窓町総合福祉センターで7月4日、牛窓音楽の夕べが行われました。オペラ歌手安川佳秀（関西学院中等部教諭）・裕子夫妻が、なつかしい童謡や世界の名曲など15曲を熱唱。その美しい歌声が会場に響き渡り、場内約300人の皆さんを魅了

しました。市内の公民館グループ活動をしているコーラス5団体のステージ発表もあり、日ごろの練習成果が披露されました。また、場内全員で市のイメージソング「ふらり瀬戸内いきもち」を大合唱する場面もあり、心温まる時間が流れました。



安川佳秀さんの歌に聴き入る会場の皆さん

読み聞かせの妙味を聞く

子どもと楽しむ絵本講座

長船町公民館で6月23日、せとうち子ども読書推進事業の子どもと楽しむ絵本講座が開催されました。講座には市内から23人が受講。県立図書館ボランティア二人（青江まり子さん、川崎邦子さん）を講師に迎え、絵本の読み聞かせボランティアとして活動した体験談を聞きました。

「読み聞かせは、人から人へ心と心をつなぎ、子どもの成長に大きなものを残しています」「絵本の世界を子どもたちと一緒に楽しみ、一緒に感動してください」と講師から受講生の皆さんにアドバイス。受講した皆さんは、読み聞かせの妙味を、熱心に聞き入っていました。



熱心に聞き入る受講生の皆さん

収穫の喜び味わう

タマネギ収穫祭



大きく実ったタマネギを懸命に抜いています

邑久町福元で6月13日、タマネギ収穫祭が行われました。瀬戸内市振興公社の主催で行われ、市内から約70人が参加。参加者は、畑で丸々と実ったタマネギを抜き、皮を取りネットに詰めていきました。

「おいしそうなタマネギが取れました。カレーに入れていただきます」とうれしそうに話す参加者。市場より安価で、新鮮なタマネギが手に入ると、大勢の皆さんが参加し、収穫に汗を流していました。

美しい瀬戸内海を守るために

リフレッシュ瀬戸内海岸清掃

牛窓町前島の新御堂港、邑久町虫明の扇海岸・前泊海岸の市内3カ所で7月12日、ボランティアと地域住民による清掃活動が行われました。今回で15回目を迎える「リフレッシュ瀬戸内」は、瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会の主催で、美しい瀬戸内海を守るために毎年行われています。

越える約260人の参加があり、参加者はゴミ袋を片手に、海岸に流れ着いた流木や発泡スチロールなどのゴミを拾い、1時間ほどの活動で5台のトラックにっばいのゴミが集まりました。参加者の一人は、「広い海岸の清掃なので普段はなかなかできないが、みんなで地域をきれいにするのは気持ちいい」と笑顔で話していました。



新御堂港そばの海岸で、漂着したゴミを拾ったり雑草を抜いたりしました

心と心のふれあい

ふれあい学級が幼稚園と交流会



あいこで…しよっ！

6月22日、長船町公民館のふれあい学級（高齢者学級）が美和、国府、行幸の各幼稚園を訪問し、交流会を開きました。

国府幼稚園（岡本みさ子園長・園児72人）にはふれあい学級生32人が訪問。「かたつむり」「てるてるぼうず」などの歌を一緒に歌いました。中でも盛り上がったのが、「げんこつ山のたぬきさん」に合わせたじゃんけんゲーム。勝敗が決まるたびに「やったー」という歓声があちらこちらで上がっていました。最初は緊張していた園児たちも、おじいちゃん、おばあちゃんをたたいてあげたり、膝の上に座っておしゃべりしたりするうちにすっかり打ち解けた様子。園内には終始笑顔があふれ、心と心が触れ合う交流の場となりました。